

な方法を知らないからであらう、今や世を擧げて此れに耳を傾ける必要がある、傾けずに居つては後悔する時があるであらう！

「萬民一同ニ南無妙法蓮華經ト唱ヘ奉ラバ」

一大信念を起して妙法五字を唱ふる時茲に人は自覺に生き、世は義農の世となつて、眞の平和樂境を現出するのである。

善日曆の使命は實にこれなのである。(終)

改造の眞意義

小林 峰 月

現時萬邦の津々浦々に到るまで専ら改造を叫ぶざるものなし、然れども世人の唱ふる改造の言那邊を指せるや、甚だ其言の忙漠散漫にして其眞意義を解せざるは實に痛恨事といふべし。吾人をして言はしめば今時最も急務なるは先づ日本國民の心の改造なり。汝自らを知らずして徒らに改造を叫ぶは愚の甚しきといふべし、我國民は今や所謂危急存亡の秋に際するなり、徒ら

に五大強國の空名に酔ふ事勿れ、社會的改造も國際的改造も凡て個人の頭が其出發点なり。何ぞ階段なくして階上に達するを得んや、只附和的改造の叫びは寧ろ改造の意義を解せざる頑迷の代表者といはずして果何といふべき、よろしく雷同を廢せよ他を羨むなかれ、汝は汝の天職に生くべし、自己の天職に向て勇往邁進せと、額に汗して汝の生活を營め、遊惰放逸たる國民の改造は畢竟水泡空論に終るべきものにして天の福音に接するは難し、而して相互、自己の天職に進むならば其處に於て直ちに一致も調和も見出さるべし、國家社會に此一致調和を去りて國民の生活は不可能なり即ち例を以て言ふならば吾人の肉体は骨肉を以て構造せられ五管の働らきによりて始めて動作となる。若し足を切り去らんか歩行不可能なり、眼を取り去らんか判別不可見也即ち吾人の一致調和は五体具足の如き關係を有するものにして國民の相互扶助は其儘美はしき改造なり。かくするならば民力の涵

養も自然に培はべし従て國民の精神一層強固に不動の信念は益々増長し燒く能はず水も溺す能はずして強き彈力となり、困苦に遭遇しては不屈不撓となり、逆境にありては強き響きとなり堅き金鐵の如く國民全般の確固不動の精神はやがて矛盾不調和、不謙遜なる現社會の幣風一掃されん事、火を見るより明らかなり夫れ焦眉の急たる排日問題を如何せん、國民の意氣なきか當局の明なきか此急に際し國民の迷夢を醒すは誰なりや宜しく正義の前には劍を執れ人道のためには銃をとれ、以て彼等米人の迷夢を破れ、民力涵養を叫び國民に一大福音を興へ永遠限りなき生命を保たしめんとするには吾人の使命に非ずや彼等の矛盾は吾人の矛盾、彼等の不平は吾人の不平彼等の悦樂は吾人の悦樂より、畢竟彼等を導く天職が吾人にある事を自覺せよ先づ自からの頭を改造せよ、世の所謂盲目にして盲目を導く徒となるなかれ。それ前述せる如く民力涵養と雖も他を以て本意となすべからず各自の

自覺が民力涵養なり即ち宗教家は宗教の宣傳に學者は眞理の研究に軍人は軍國のために自覺を以て己が使命を全とうせんとするは即ち民力涵養なり然れども根本の自覺は只信念にあるのみ堅き信念の淵底より流出せる赫々たる光明は所謂惚てのものを征服すべし。其信念の宣傳が吾人の使命否生命なり眞の信念を宣傳し以て國民を導かんとせば先づ第一に自己の信念の堅固不動を養はずんばあるべからず法華經の「不自惜身命」の金言聖祖の「此ノ臭キ頭ヲ法華經ニ奉ルナラバ砂ニ金ヲカヘ糞ニ米ヲ商ヘルガ如シ」てふ大抱負大信念を自己の大自覺大信念となし以て國民を導くべし然らば内相の示せる五大要目の如きは自然の實現を見るべきか。最後に言はん先づ自己の頭、自己の心情を改造せんことを刻下の急務となすべし。(了)

